

第9期大津市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

## 高齢者を取り巻く現状について

1. 人口及び高齢化の現状
2. 保健福祉ブロックと日常生活圏域の状況

令和5年7月

大津市

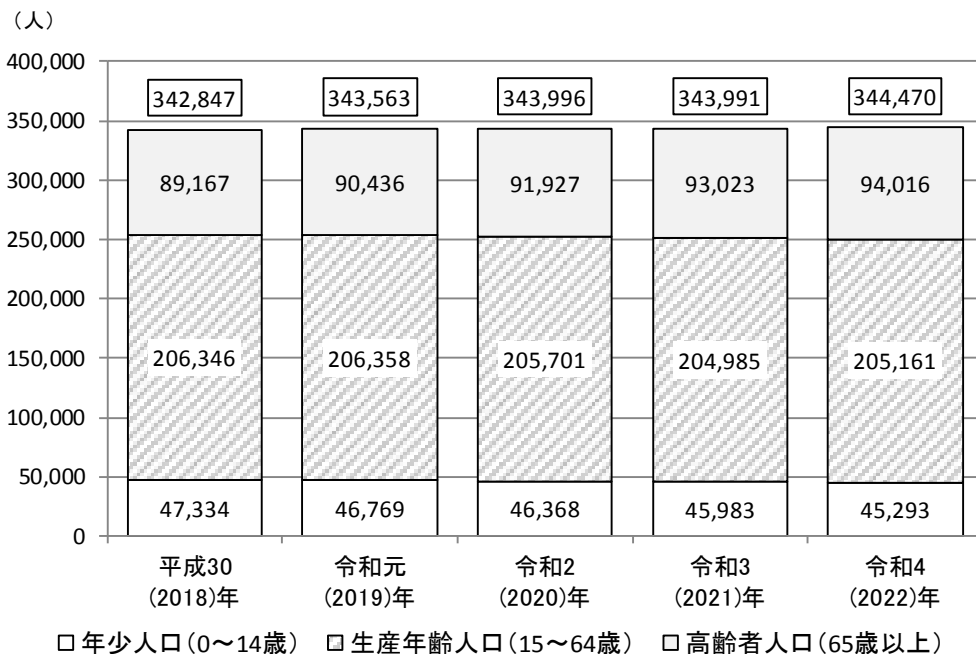
# 1. 人口及び高齢化の現状

## (1) 高齢者人口

本市の総人口は、平成27年(2015年)以降、年率平均0.09%の微増傾向で推移しており、令和4年(2022年)には344,470人となっています。また、年齢3区分別人口をみると、年少人口(15歳未満)、生産年齢人口(15~64歳)は減少傾向となっているのに対し、高齢者人口(65歳以上)は増加傾向となっています。

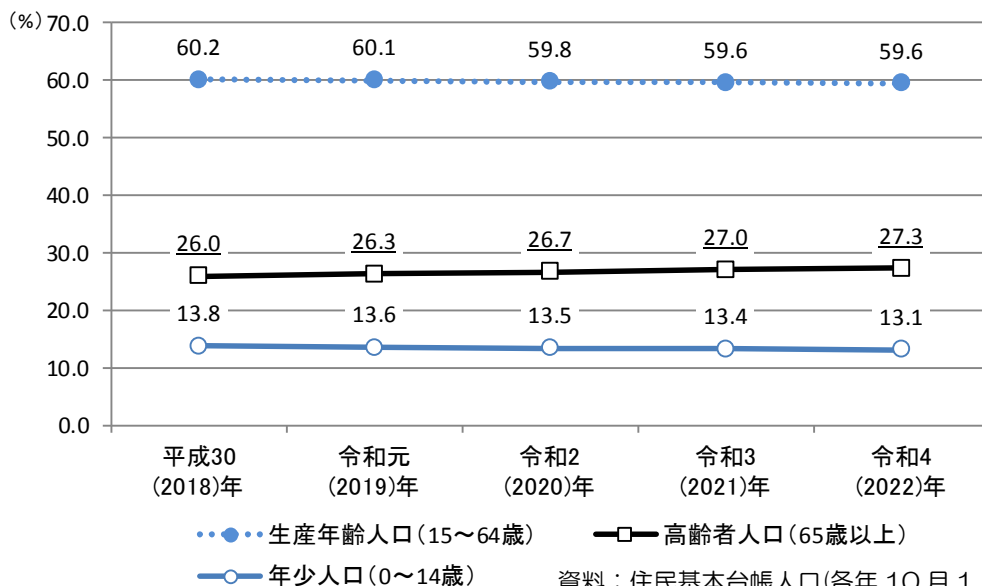
65歳以上の高齢者人口の総人口に占める高齢化率をみると、上昇傾向で推移しており、令和4年(2022年)には27.3%となっています。

### ■総人口(年齢3区分別)の推移



資料：住民基本台帳人口(各年10月1日)

### ■年齢3区分別人口割合の推移



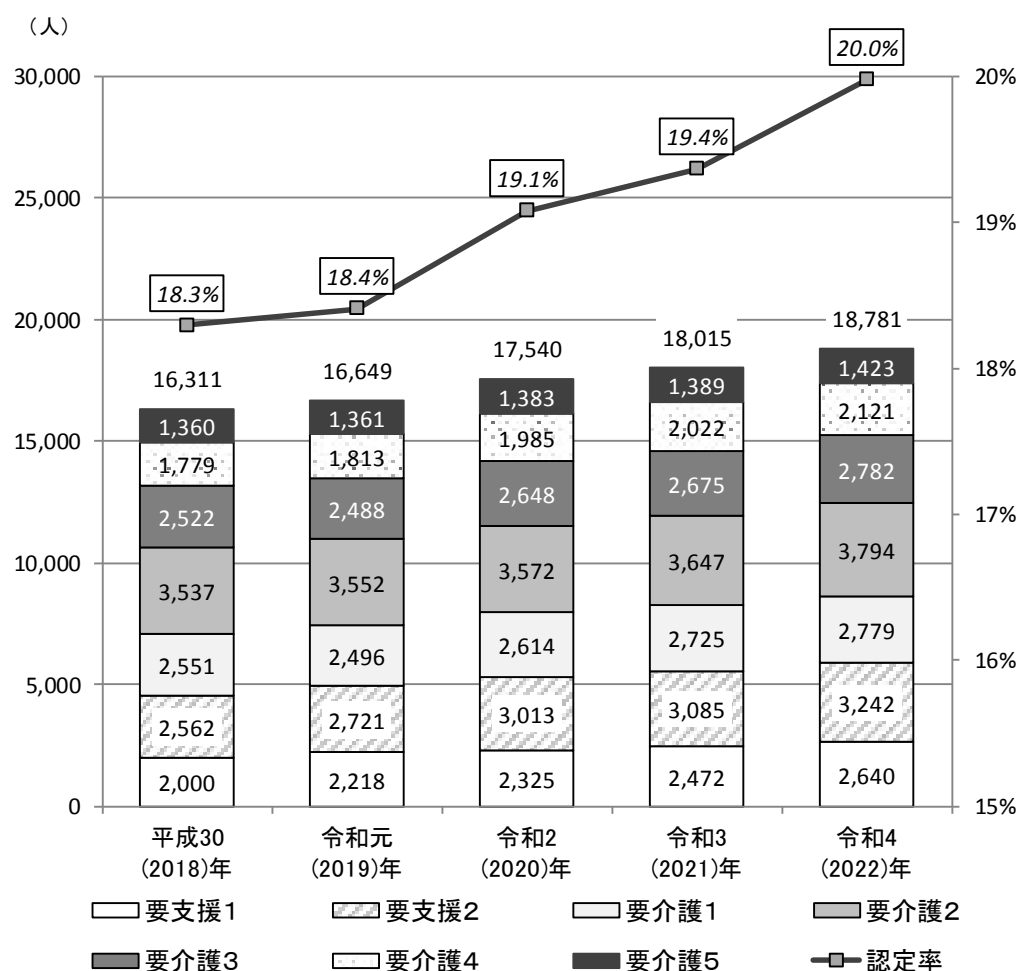
資料：住民基本台帳人口(各年10月1日)

## (2) 要支援・要介護認定者の状況

要支援・要介護認定者数（以下「認定者数」という。）の推移は、これまで増加傾向で推移しており、令和4年（2022年）には18,781人となっています。第1号被保険者の要支援・要介護認定率（以下「認定率」という。）も上昇傾向となっており、令和4年（2022年）には20.0%となっています。

要介護度別にみると、要支援2と要介護2の割合が多くなっています。

### ■要支援・要介護認定者数の推移

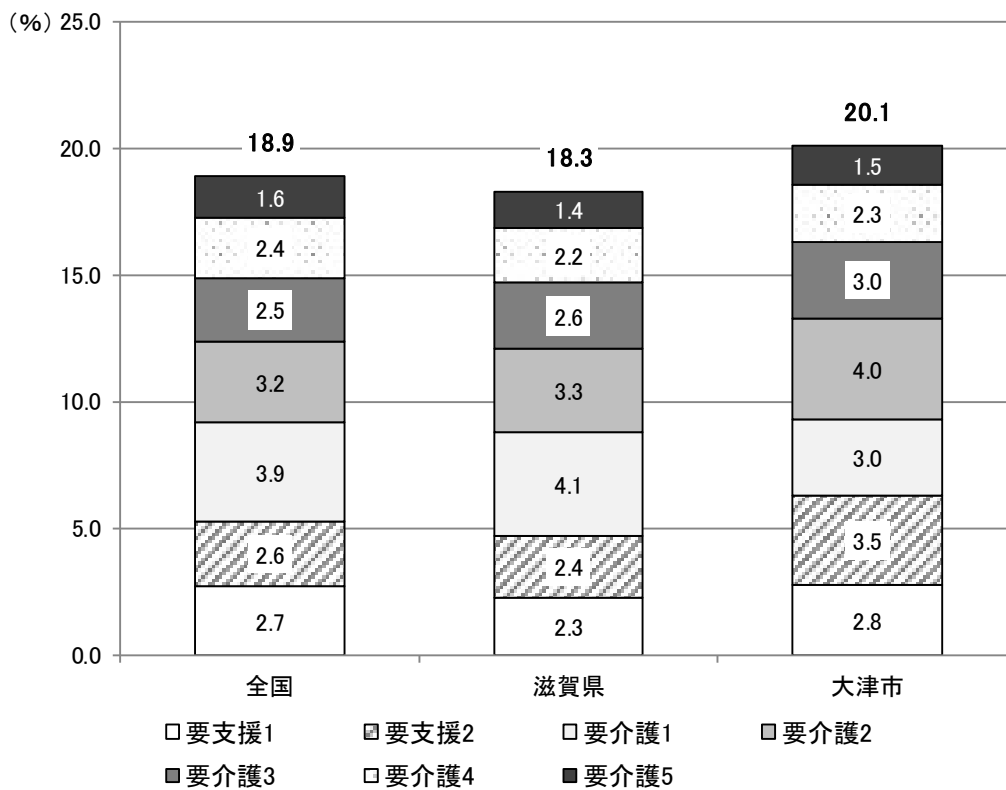


資料：介護保険事業状況報告(各年10月1日)

調整済み認定率（要介護度別）を全国や滋賀県と比較してみると、要支援1、2と要介護2の認定率が高くなっており、このため全体の認定率が全国や滋賀県より高くなっています。

※調整済み認定率：認定率の多寡に大きな影響を及ぼす「第1号被保険者の性・年齢構成」の影響を除外した認定率を意味する。（性・年齢調整は、「全国平均と全く同じ第1号被保険者の性・年齢構成だった」として計算をしたもの。）

■調整済み認定率（要介護度別）令和3年(2021年)の全国、滋賀県との比較



(時点) 令和3年(2021年)

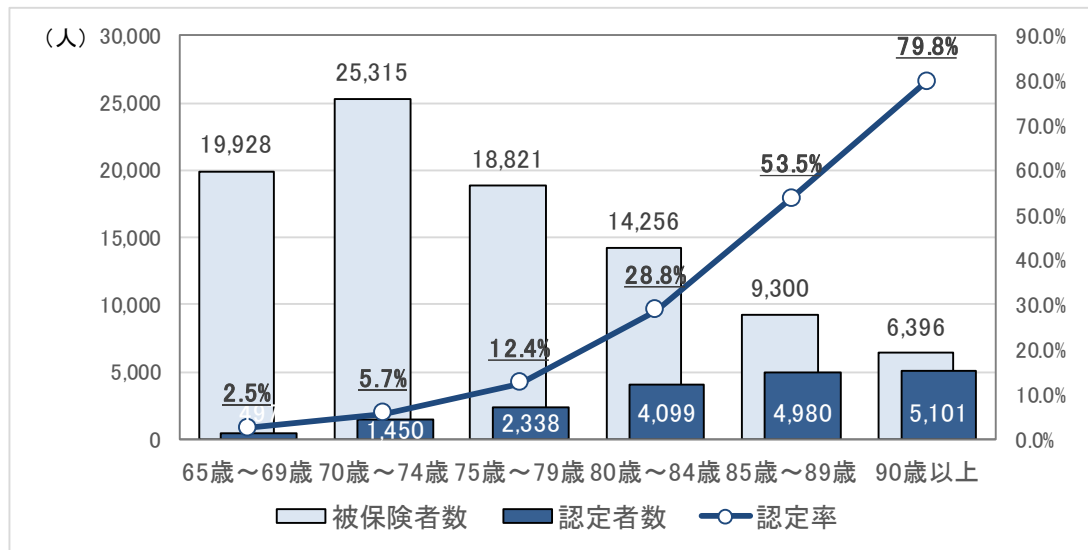
(出典) 厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報（令和3年度のみ「介護保険事業状況報告」月報）および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」

資料：地域包括ケア「見える化」システム

令和4年(2022年)10月1日現在、年齢区分別に被保険者数、認定者数及び認定率の状況を見ると、80歳から認定率が上昇しはじめ、85～89歳では53.5%、90歳以上では79.8%となっています。

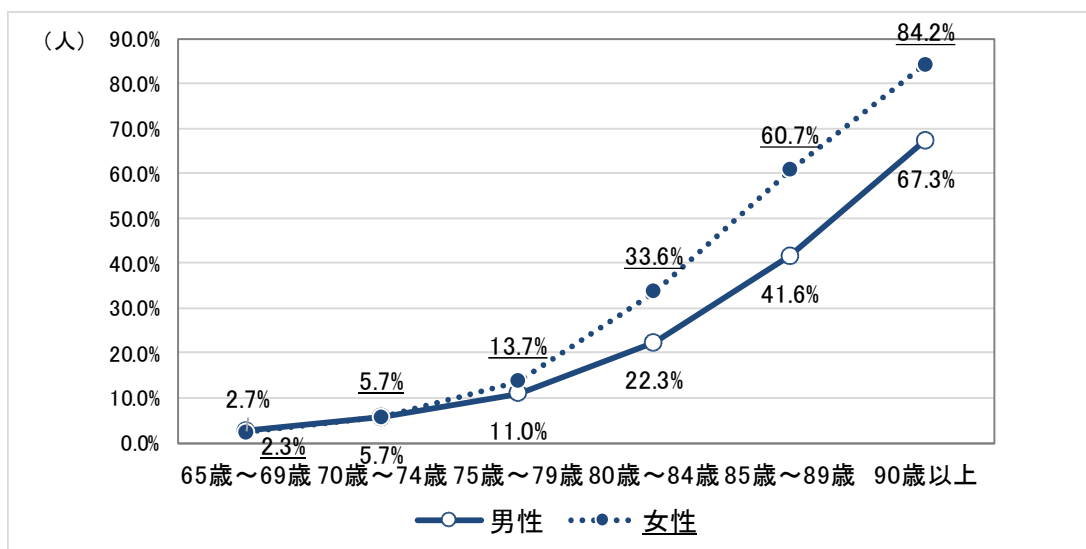
男女別にみると、75歳以上になると男性に比べて女性の認定率が高くなり、80～84歳では11.3ポイント、85～89歳では19.1ポイント、90歳以上では16.9ポイントの差になっています。

■高齢者（第1号被保険者）数と認定者数・認定率の状況（令和4年（2022年）度）



資料：地域包括ケア「見える化」システム（介護保険事業状況報告(10月1日)）

■性別・年齢層別にみた認定率の状況（令和4年（2022年）度）



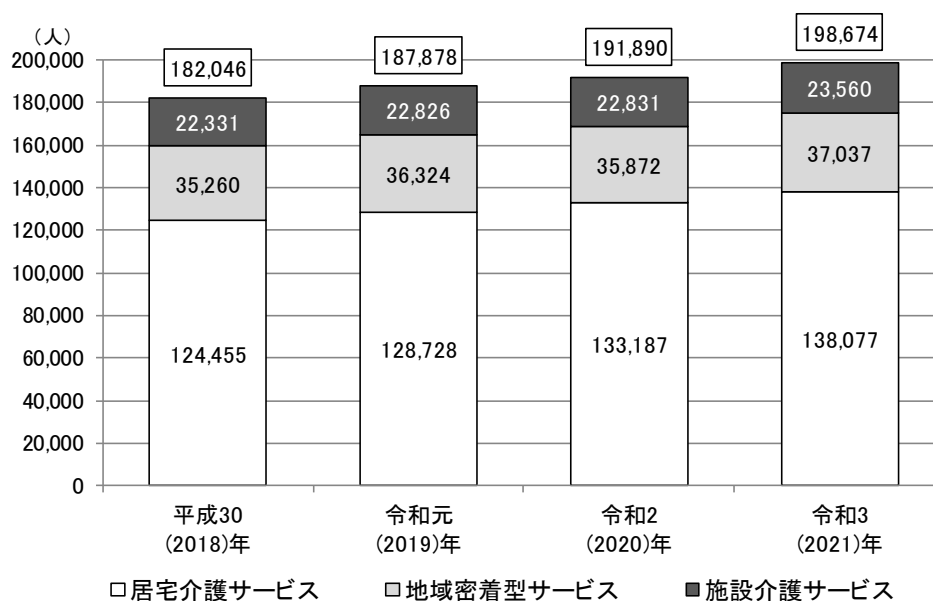
資料：地域包括ケア「見える化」システム（介護保険事業状況報告(10月1日)）

### (3) サービス受給者数と給付額の推移

認定者数の増加と比例して、介護保険サービス受給者数と介護保険サービス給付費は増加しています。

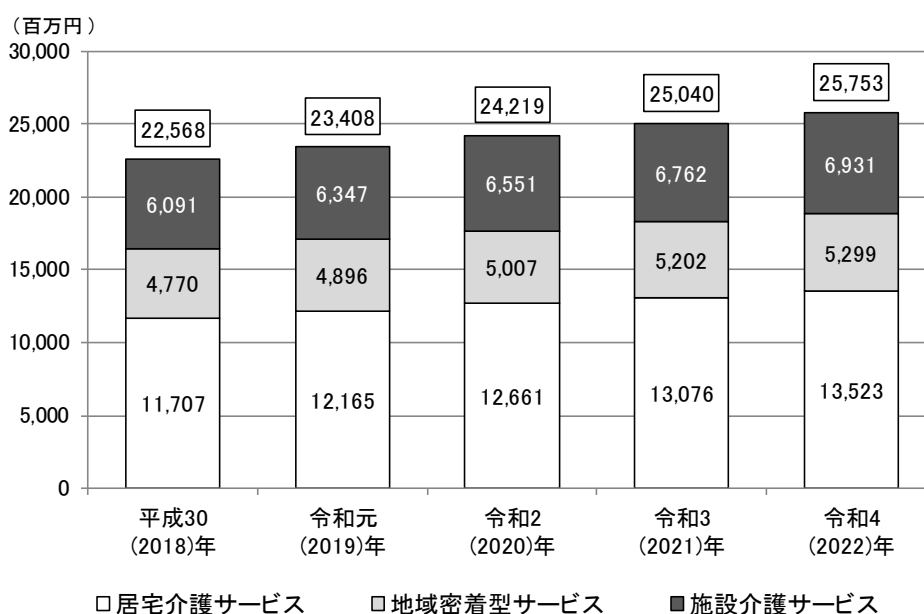
介護保険サービス受給者数の推移をみると、平成30年(2018年)から令和3年(2021年)にかけて、受給者数の累計は約1万7千人増加しています。介護保険サービス給付費も居宅介護サービスを中心に年々増加しています。

■介護保険サービス受給者数の推移



資料：介護保険事業状況報告(年報)

■介護保険サービス給付費の推移



資料：介護保険課

## 2. 保健福祉ブロックと日常生活圏域の状況

### (1) 保健福祉ブロックと日常生活圏域の設定

本市では、保健福祉施策推進の基本となる「保健福祉ブロック」を7箇所と設定し、各ブロックに地域包括支援センターを設置しています。なお、本市では地域包括支援センターを「あんしん長寿相談所」という愛称で呼んでいます(以下、「あんしん長寿相談所」という。)

また、保健福祉ブロックをさらに2、3箇所に分けた日常生活圏域を、市全体で15箇所設定しています。

#### ■保健福祉ブロックと日常生活圏域、担当あんしん長寿相談所

保健福祉ブロック (担当あんしん長寿相談所)	日常生活圏域
志賀ブロック (和邇あんしん長寿相談所)	(1)小松、木戸 (2)和邇、小野
北部ブロック (堅田あんしん長寿相談所)	(3)葛川、伊香立、真野、真野北 (4)堅田、仰木、仰木の里、仰木の里東
中北部ブロック (比叡あんしん長寿相談所)	(5)雄琴、日吉台、坂本 (6)下阪本、唐崎
中部ブロック (中あんしん長寿相談所)	(7)滋賀、山中比叡平 (8)藤尾、長等、逢坂、中央
中南部ブロック (膳所あんしん長寿相談所)	(9)平野、膳所 (10)富士見、晴嵐
南部ブロック (南あんしん長寿相談所)	(11)石山、南郷 (12)大石、田上
東部ブロック (瀬田あんしん長寿相談所・ 瀬田第二あんしん長寿相談所)	(13)上田上、青山 (14)瀬田、瀬田南 (15)瀬田北、瀬田東

## (2) ブロック別人口等の状況

ブロック別の人口や高齢化率、認定率の状況は次のとおりです。

高齢化率は志賀ブロックや南部ブロックなどで高くなっています。また、認定率は中北部ブロックや中部ブロックで高くなっています。

### ■保健福祉ブロックの人口等の状況

	人口(人)	高齢者人口(人)	高齢化率(%)	認定率(%)
志賀ブロック	21,296	7,605	35.7%	17.8%
北部ブロック	49,096	13,892	28.3%	17.6%
中北部ブロック	48,861	13,082	26.8%	21.8%
中部ブロック	52,292	15,080	28.8%	21.5%
中南部ブロック	61,154	16,314	26.7%	19.9%
南部ブロック	34,186	11,354	33.2%	19.1%
東部ブロック	77,585	16,689	21.5%	19.2%
計(高齢化率、認定率は平均)	344,470	94,016	27.3%	19.7%

資料：人口、高齢者人口は令和4年10月1日現在、住民基本台帳人口  
認定率(認定者数)は令和4年10月1日現在、介護保険課